



I.S.P-300 Series

アップデートの手引き



1 目次

1	目次	2
2	はじめに	3
3	ファイルの準備	3
3.1.1	V4.00 より前	3
3.1.2	V4.00～	4
4	ホストプログラムのアップデート	5
4.1	旧ホストプログラムのアンインストール	5
4.2	インストール	6
4.2.1	～V.2.40	6
4.2.2	V.2.41～	6
5	本体のアップデート	7
5.1	UPDATEFILE フォルダの構成	7
5.1.1	V4.00 より前	7
5.1.2	V4.00～	7
5.2	本体アップデート手順	8
5.2.1	～V3.23	8
5.2.2	V4.00～	11
5.2.3	メモリチェック	13
6	改訂履歴	14

2 はじめに

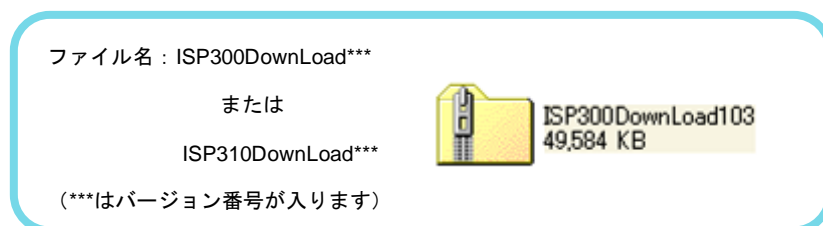
I.S.P-300 シリーズ V2.10 で Microsoft Windows7 の 64bit に対応しました。
64bitOS 対応にあたり、ホストプログラム・USB ドライバが新しくなりました。
ホストプログラムのインストール及び本体プログラムのアップデートの際は下記手順に従って行って下さい。

3 ファイルの準備

ダウンロードファイルは、zip 形式で圧縮しております。
Zip 形式のファイルを解凍できるアプリケーション (Lhaplus, +Lhaca 等) をご準備下さい。

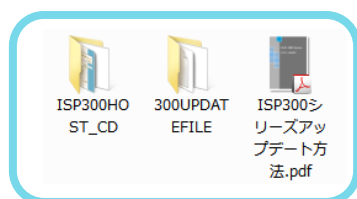
弊社 HP よりアップデートファイルをダウンロードして下さい。

(URL <http://www.k-kyoei.jp/> : ダウンロードページよりダウンロードが可能です。)



ダウンロードしたら、ファイルを解凍して下さい。

3.1.1 V4.00 より前



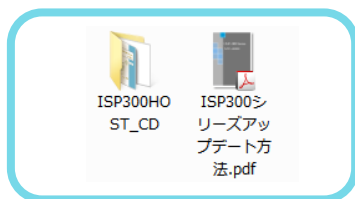
● 解凍したフォルダの内容

フォルダ名	フォルダ内容
ISP300HOST_CD	PC にインストールするホストプログラム (購入時に添付される CD-ROM と同様の内容です。)
UPDATEFILE	I.S.P-300 シリーズ本体を更新するためのアップデートファイル
ISP300 シリーズアップデート方法	このファイル

※アップデートファイルのパスに 2 バイトコードが含まれる場合に、正常にアップデートできない場合があります。アップデートファイルは 2 バイトコードが含まれないパスに格納してください。

3.1.2

V4.00~



● 解凍したフォルダの内容

フォルダ名	フォルダ内容
ISP300HOST_CD	PC にインストールするホストプログラム (購入時に添付される CD-ROM と同様の内容です。)
ISP300 シリーズアップデート方法	このファイル

※インストールするパスに 2 バイトコードが含まれる場合に、正常に本体のアップデートができない場合があります。
2 バイトコードが含まれないパスにインストールしてください。

4 ホストプログラムのアップデート

お使いの PC に、I.S.P-300 シリーズを使用するための HOST プログラム、および I.S.P-300 シリーズ用のアップデートをインストールします。インストール・またはアンインストール作業の前には、I.S.P-300 HOST プログラムが起動している場合 **必ず終了させて下さい**。

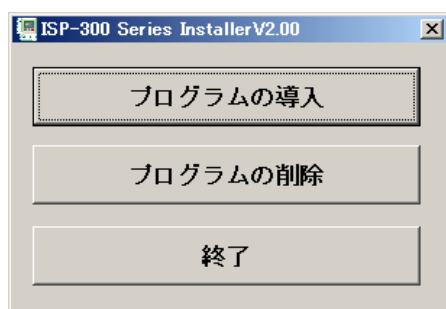
- ※ 本体のバージョンを V1.* *から V2.10 以降にアップデートする場合は旧バージョンのホストプログラムをアンインストールする前に本体プログラムをアップデートして下さい。

4.1 旧ホストプログラムのアンインストール

V2.00～V2.03 までのホストプログラムをアンインストールします。*1

旧ホストプログラムがインストールされているフォルダにある “Setup_ISP300_v2.exe” を実行します。

プログラムを実行すると下記の様な画面が表示されます。

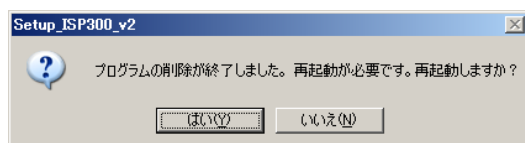


「プログラムの削除」ボタンを押してホストプログラムを削除します。*2

*1 I.S.P-300 シリーズを接続したままでプログラムのアンインストールは行わないで下さい。

*2 「プログラムの導入」ボタンが表示されない場合もありますがプログラムの削除は可能です。

削除が終了しますと再起動を要求するメッセージが表示されます。画面の指示に従って PC を再起動して下さい。

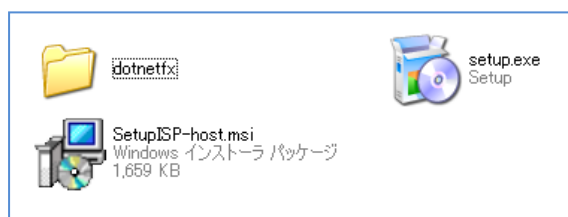


4.2 インストール

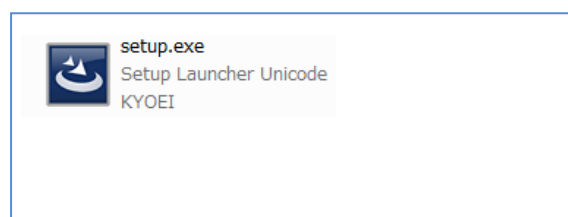
ISP300HOST_CD フォルダを開き、setup.exe をダブルクリックすると、セットアップ用プログラムが起動します。セットアッププログラムの画面の指示に従い、ホストプログラムをインストールして下さい。

インストールに必要なファイル群の例を以下に示します。

4.2.1 ~V.2.40



4.2.2 V.2.41~



5 本体のアップデート

5.1 UPDATEFILE フォルダの構成

5.1.1 V4.00 より前

ファイル名	ファイル詳細
isp***.mot	ソフトウェア・アップデートファイル (***はバージョン番号が入ります)
REV****.rpd	ファームウェア・アップデートファイル (****はリビジョン番号が入ります) ※I.S.P-310 と I.S.P-300 ではファームウェア・アップデートファイルが異なるものになります。 お使いの本体に合わせてファイルを選択して下さい。 <i>I. S. P-310 : REV80**.rpd</i> <i>I. S. P-300 : REV00**.rpd</i>

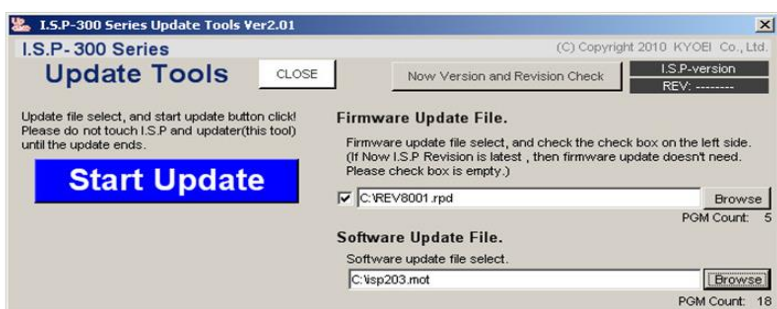
5.1.2 V4.00～

UPDATEFILE フォルダはありません。

5.2 本体アップデート手順

5.2.1 ~V3.23

- I.S.P-300 又は I.S.P-310 と PC を接続
PC と I.S.P-300 又は I.S.P-310 を **USB-mini-B** ケーブルで接続し、I.S.P 本体の電源を ON します。
- アップデートプログラム起動
「スタート」→「プログラム」→「KYOEI」から「ISP3UPDT_ver2」を選択すると、version2.xx～用のアップデーターが起動します。
(V1.xx からのアップデートは Ver1.xx 用のアップデーターをご使用下さい。)



Version2.xx アップデーター

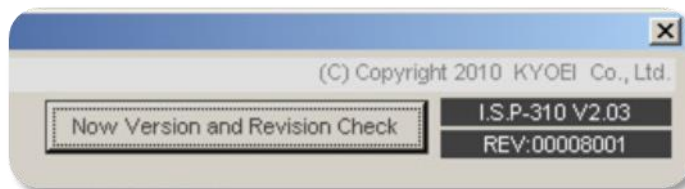


Version1.xx アップデーター

5.2.1.1 ファームウェア・アップデート準備

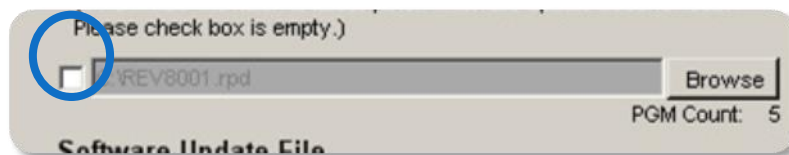
ファームウェアのバージョンが上がった時は、ファームウェアのアップデートが必要になります。
Now Version and Revision Check を押下して、現在のバージョンを確認して下さい。
現在のバージョンとファームウェア用アップデートファイルのバージョンが一致している場合は
ファームウェアのアップデートは必要ありません。

○バージョンチェック



※バージョンチェックは本体のバージョンが v2.03 以降で対応しております。

ファームウェアのアップデートを行う場合は、左のチェックボックスにチェックを入れて下さい。
 チェックボックスにチェックがない場合は、ファームウェアのアップデートを行わず
 ソフトウェア・アップデートのみ行われます。



※I.S.P-310 と I.S.P-300 ではファームウェア・アップデートファイルが異なります。

((「5.1UPDATEFILE フォルダの構成」参照)

ファイル選択を誤った場合、I.S.P-300 シリーズからターゲット CPU への書込みが出来なくなる
 可能性があります。十分ご注意ください。

※アップデート前のファームウェアと上位 1 桁が同じファームウェア・アップデートファイルをご利用ください。
 ファイル選択を誤った場合、I.S.P-300 シリーズからターゲット CPU への書込みが出来なくなる可能性があり
 ます。十分ご注意ください。

例：

アップデート前のファームウェア	アップデート後のファームウェア	アップデート可・不可
REV9023	REV9024	可
REV8023	REV8024	可
REV8023	REV9024	不可

※アップデートファイルのパスに 2 バイトコードが含まれる場合に、正常にアップデートできない場合があります。
 アップデートファイルは 2 バイトコードが含まれないパスに格納してください。

5.2.1.2 ソフトウェア・アップデート準備

「Browse」ボタンを押すとファイル選択画面になりますので、ソフトウェア・アップデートファイルを指定して下さい。

※ファームウェアが REV9000～の本体は、V3.24 より前のバージョンのソフトウェアに対応しておりません。
 アップデート前のファームウェア・バージョンによって、アップデート可能なファームウェア・バージョンが異
 なるので、「5.2.1.1 ファームウェア・アップデート準備」も併せてご参照ください。

ファームウェア	ソフトウェア
REV9000～	V3.24～

※アップデートファイルのパスに 2 バイトコードが含まれる場合に、正常にアップデートできない場合があります。
 アップデートファイルは 2 バイトコードが含まれないパスに格納してください。

5.2.1.3 I.S.P-300 シリーズ本体のアップデート開始

準備が完了したら「Start Update」ボタンを押してI.S.P本体のアップデートを開始します。



アップデート中はUSBケーブルの抜き差しや本体の電源 OFF を絶対にしないでください。I.S.P 本体が起動しなくなる場合があります。もし本体が起動しなくなった時には弊社サポートまでご連絡下さい。 URL <http://www.k-kyoei.jp>

アップデート中画面



アップデートが終了すると、右図のようなウィンドウが表示されます。



これでI.S.P本体のアップデートが完了致しました。本体の電源を再投入して下さい。

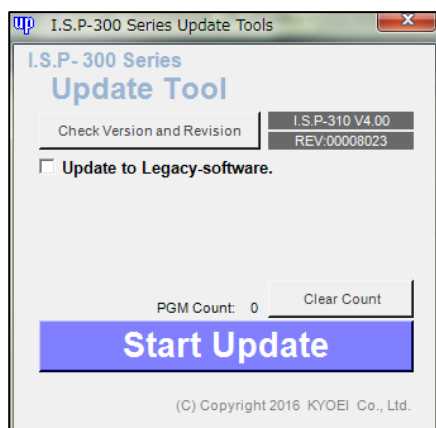
起動すると、最初の画面にアップデートしたバージョンでI.S.P-300(又はI.S.P-310) V*:**と表示されます。

注意：アップデート後は必ずメモリチェックを行ってください。

I.S.P 本体への転送が行えなくなる可能性(Flash Memory Error)があります。また、アップデートで機能追加をした場合、本体の設定が変更になる場合がありますので、アップデート後にメモリテストを行わない場合は、ホストプログラムから本体設定を再設定して下さい。

5.2.2 V4.00～

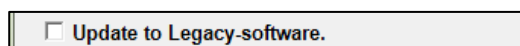
- I.S.P-300 又は I.S.P-310 と PC を接続
PC と I.S.P-300 又は I.S.P-310 を、**1 台だけ** USB-mini-B ケーブルで接続し、I.S.P 本体の電源を ON します。
- アップデートプログラム起動
「スタート」→「プログラム」→「KYOEI」から「ISP3UPDT_ver4」を選択すると、Version4.xx～用のアップdaterが起動します。



5.2.2.1 アップデート準備

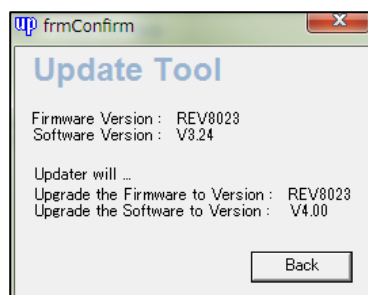
Legacy-CPU をプログラムする場合には Legacy バージョンのソフトウェアが必要になります。Legacy-CPU に分類される CPU 品種は、最新の接続表をご確認ください。

Legacy バージョンのソフトウェアにアップデートする場合は、下図のチェックボックスにチェックを入れてください。チェックボックスにチェックが無い場合は、ホストプログラムに対応したソフトウェアにアップデートされます。

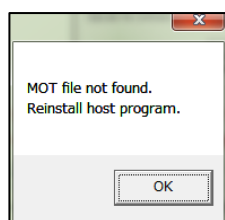


5.2.2.2 バージョンの確認

「Check Version and Revision」ボタンで、本体の現在のバージョンとアップデート後のバージョンを確認してください。

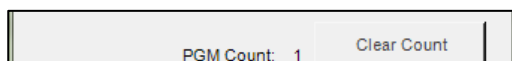


上図のバージョン確認画面が表示されなかったり、下図のようなダイアログが表示される場合はホストプログラムをインストールし直してください。



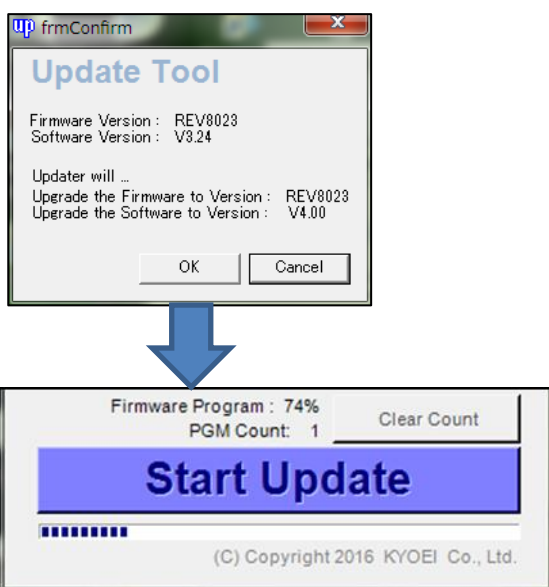
5.2.2.3 カウンタの確認

アップデートが完了した回数が表示されています。回数は「Clear Count」で0に戻ります。



5.2.2.4 I.S.P-300 シリーズ本体のアップデート開始

準備が完了したら「Start Update」ボタンを押してください。本体の現在のバージョンとアップデート後のバージョンを確認すると、アップデートを開始します。



アップデート中はUSBケーブルの抜き差しや本体の電源 OFF を絶対にしないでください。I.S.P 本体が起動しなくなる場合があります。もし本体が起動しなくなった時には弊社サポートまでご連絡下さい。 URL <http://www.k-kyoei.jp>

アップデートが終了すると、下図のようなウィンドウが表示されます。



これでI.S.P 本体のアップデートが完了致しました。本体の電源を再投入して下さい。

起動すると、最初の画面にアップデートしたバージョンでI.S.P-300(又はI.S.P-310) V*.**と表示されます。

注意：アップデート後は必ずメモリチェックを行ってください。

I.S.P 本体への転送が行えなくなる可能性(Flash Memory Error)があります。
また、アップデートで機能追加をした場合、本体の設定が変更になる場合がありますので、アップデート後にメモリテストを行わない場合は、ホストプログラムから本体設定を再設定して下さい。

5.2.3 メモリチェック

I.S.P 本体を、[FUNC]+[PROG]キーを押しながら電源 ON すると、TEST mode 画面となります。

[PROG]キーを 2 秒ほど連続して押し続けると、メモリチェックが開始されます。

```
Erase → WRITE TEST 0 → READ TEST →  
Erase → WRITE TEST 1 → READ TEST →  
Erase → WRITE TEST 2 → READ TEST → Erase → Complete!!
```

メモリチェックの実行には、約 10 分程度掛かります。

6 改訂履歴

版番号	日付	改訂概要
3	2010/04/20	2.xx 用新規作成
4	2010/07/15	アップデーター変更により一部修正
5	2010/09/13	V2.04 用にアップデートの手引きを修正
6	2011/07/04	V2.10 用にアップデートの手引きを修正
7	2012/05/09	アップデートバージョンの表記を変更
8	2012/08/22	アップデート後の注意事項について変更
9	2013/04/17	誤記修正 Laplas → Lhaplus
10	2013/06/20	アップデートファイルのパスについて注意事項を追記
11	2014/01/12	ホストプログラムのインストールについて V2.41 以降の場合の追記
12	2014/05/13	ヘッダ情報の (Ver2.10 以降) の記述を削除 ISP310 用ダウンロードファイル名を追加 ファームウェアファイル名の詳細を修正 REV800*.rpd→REV80**.rpd
13	2016/03/07	V4.00 に対応した記述を追記
14	2017/03/28	社名を変更

I.S.P-300 series アップデートの手引き

31 - 159 - 8040

発行日・版数

2017 年 3 月 28 日

Ver4.xx 第 14 版

著者発行所

アイフォーコム京栄 株式会社

〒186-0011 東京都国立市谷保5826-1

TEL 042-577-3955

FAX 042-580-7222

Mail kyoei@k-kyoei.jp

URL <http://www.k-kyoei.jp>

- 本器又は本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
あらかじめご了承下さい。
- 尚、本書に記載されたデータ、回路の使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はおとりかえいたします。
- 本書にある商品名、名称などは、各社の商標または登録商標です。